

# 経済日誌 (9.1~9.30)

## 国内外

### 9.7◇概算要求、過去最大の102兆円

財務省は2019年度予算の各省庁の概算要求が総額で過去最大の102兆7,658億円になったと発表した。同省は今後の査定で予算を絞り込むが、2019年10月予定の消費増税に備えた経済対策は含まれておらず、最終的な政府予算案は一般会計で初めて100兆円を超える見通し。

### 9.12◇iPhone、新機種発表

米アップルは主力製品のスマートフォン「iPhone (アイフォーン)」の新機種を発表した。14日には国内携帯大手3社が新機種「XS (テン・エス)」の販売価格を発表したが、高級路線を強化する一方、実質負担額を昨年11月に販売した「X」と同水準に抑えた。

### 9.20◇仮想通貨67億円流出

仮想通貨交換会社のテックビューロ(大阪市)は、仮想通貨約67億円相当が不正に流出したと発表した。仮想通貨の巨額流出は今年1月にコインチェック(東京)で約580億円が流出して以来。金融庁は同日立ち入り検査を行い、25日には3月と6月に続いて3度目の業務改善命令を出した。

### 9.24◇米、対中関税第3弾発動

トランプ米政権は2千億ドル(約22兆円)相当の中国製品に10%の関税を上乗せする制裁第3弾を発動した。中国も600億ドル相当の米国製品に5~10%を上乗せする報復措置を即日実施した。米国が輸入品の半分に、中国が7割に高関税対象を一気に広げる異例の事態となった。

## 県内

### 9.4◇外旭川イオン、CCRC構想導入へ

イオンタウン(千葉市)は、秋田市の外旭川地区に計画している大型複合商業施設の出店構想を一部変更して、高齢者が居住する施設「CCRC」を設ける考えを明らかにした。総戸数300戸で、500人の居住を見込む。実現すればCCRC構想として国内最大規模となる見通し。

### 9.6◇鶏めし弁当、パリで販売

JR東日本は、花善(大館市)の「鶏めし弁当」など5社の駅弁をフランスのパリ・リヨン駅で共同販売すると発表した。日本文化の素晴らしさを発信する「ジャポニズム2018」の参加企画で、日本では2,000種以上の駅弁が販売される中、花善は日本を代表する5社の一つとして選ばれた。

### 9.11◇あきたこまち、1万3,100円

JA全農あきたは、2018年産米のJA概算金を決定した。主力品種の「あきたこまち」(60キロ、1等米)は1万3,100円で昨年より800円高く、過去10年で2番目に高い。今年から米の生産調整(減反)政策が廃止され、米価下落の懸念がある中、4年連続の引き上げとなった。

### 9.18◇基準地価、下落率縮小

県は土地取引の指標となる基準地価(7月1日現在)を公表した。全用途の価格(1㎡当たり)は平均1万6,500円で、下落は21年連続、価格は13年連続で全国最下位となった。一方、下落率は2.5%で前年より0.5ポイント縮小し、回復の兆しもみられる。